

# シゴトヒト

## 歯科技工士

セラミックファクトリー東京 右手風友乃さん(34歳)



### 美しい歯 患者を笑顔に

撮影・園田寛志郎

#### 歯科技工士になるには

##### 安心

患者を歯の痛みから解放し、食べる喜びや笑顔を与える仕事。患者に充実した日々を過ごしてもらえるよう、専門書を読むなどして最新技術を学ぶことが大切。

##### 職人技

口の中は、髪の毛一本でも違和感を感じる敏感なところなので、人工歯は精密に作らなければならない。また、色や形も患者一人ひとりに合うようにデザインする。



##### 世界

日本の歯科技工の技術はレベルが高い。その技術は世界中で重宝されており、海外から注文が入ることも。世界各地で活躍する歯科技工士もいる。



##### 深く知りたい人へ

#### 映画「笑顔の向こうに」

今年公開された映画「笑顔の向こうに」がオススメ。主人公のイケメン若手歯科技工士が悩みながらも、成長していく様子を描いている。歯科医師や歯科衛生士、患者との関わり、仕事のやりがいなどが分かるストーリーになっている。DVDにもなっているので、チェックしやすい。

##### マストアイテム

#### 記録用の一眼レフ

人工の歯と、ほかの歯の区別がつかないよう仕上げるには、同じような歯の色にする必要がある。そのため、一眼レフカメラで口の中を細かいところまで撮影して、記録することが大切。画像を見ながら人工歯を製作している。

#### 歯科医とタッグ

義歯や歯のかぶせ物や詰め物などの人工の歯、歯並びやあごの位置を矯正する器具を作るのが歯科技工士だ。右手さんは「患者を笑顔にできることができる仕事です」と語る。

右手さんは、人工の歯を作る歯科技工所「セラミックファクトリー東京」(東京・渋谷)に勤務する。歯科医院に併設された職場で、歯科医師といっしょに患者の相談に乗りながら、一人ひとりに合わせた歯を作っている。右手さんは「大切な体の一部になる歯なので、細心の注意を払いながら作っている」と語る。

製作しているのは、セラミック素材の白い歯。医療保険の適用外なので少し高額になるが、その人の印象を壊さない、きれいな口元になるのが特徴だ。

虫歯が原因となって歯を作るほかにも、スポーツ中や事故による歯の破損で歯を作るケースもある。なかには、歯並びにコンプレックスを抱える患者のために歯を作ることもある

る。うまく歯が入って、「めっちゃきれいです」「かみ合わせがピッタリ！」などの感想が直接聞けるのは、なによりの喜びだ。

5歳の長男の子育て中でもあり、「納得のいく仕事をしつつ、家庭での時間も確保できている」と語る右手さん。「ちゃんと食事ができるようになるだけでなく、自信を持って『ニコッ』と歯を見せられるようになるのは、生活のなかでとても大切なこと。これから多くの人を笑顔にしていきたい」と話している。

#### 右手さんの1日

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 8:30  | 出勤                        |
| 8:45  | 朝礼                        |
| 9:00  | セラミック素材で人工歯を製作            |
| 13:00 | 患者や歯科医師と打ち合わせ<br>患者の口内を撮影 |
| 14:00 | 休憩                        |
| 15:00 | 患者に人工歯をかぶせる治療に立ち会う        |
| 16:00 | パソコンを使った人工歯の製作            |
| 17:00 | 退勤                        |
| 20:30 | 自宅で資料の整理                  |

##### ●関連する業種



#### MESSAGE



1985年 岡山県津山市で生まれる  
2004年 岡山県立津山商業高校卒業  
2006年 日本歯科学院専門学校卒業  
専門学校のある大阪の歯科技工所に就職  
2011年 結婚を機に転居した埼玉の歯科医院に勤務  
2014年 出産のため退職したが、翌年、仕事に復帰  
2016年 セラミックファクトリー東京に就職

#### プライベートも大事にできる

人との会話が苦手で、「自分でコツコツとできる」と考えて選んだ専門学校だった。さらに、合格後、歯科技工士はワーク・ライフ・バランスに優れた職業だと感じた。高校時代は野球部のマネジャー。たびたび練習を見に来ていた部員の父親が歯科技工士だと知り、「プライベートの時間が確保でき、好きな野球観戦もしやすいはず」と喜んだ。

仕事を続けていると、「美しい人工の歯を作りたい」という思いが強くなっていた。優れた歯科技工士が生み出す歯は、まるで芸術作品で、ほれぼれするという。そんな技術者に近づきたいと願う右手さん。「夢中になって仕事に打ち込んでほしい」と話す。